

演劇部

優良賞



熱の入った演技をする演劇部員

第三十五回石川県高等学校総合文化祭石川県高校演劇合同発表会が昨年八月六日から十日にかけて、野々市文化会館フオルテで行われた。この大会で本校の演劇部は優良賞を受賞した。

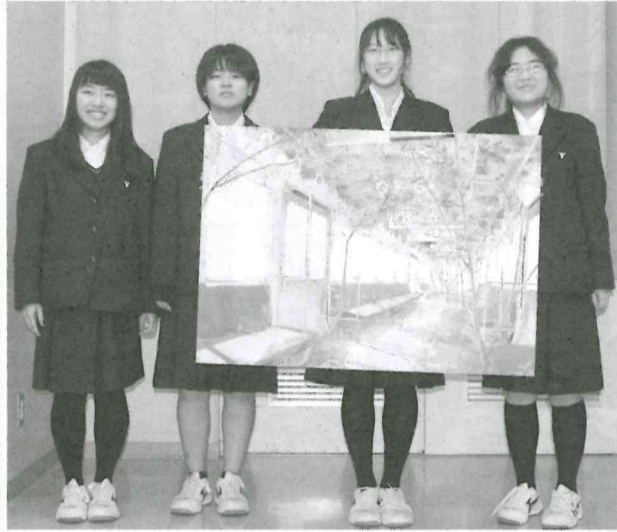
この結果について演劇部長の樋口明日香さん(202H)に話を聞くと、「ここ数年大会で賞を取れていなか

新人大会文化部特集

美術部

寺尾さん

全国総文へ



受賞を喜ぶ美術部員

昨年十一月十六日から金沢駅もなしろ1階地下広場で行われた石川県高文連金沢地区美術展の美術工芸部門において本校美術部の寺尾綾夏さん(202H)と風見佳那さん(201H)と吉田紗弥華さん(208H)が優良賞、藤本遥香さん(202H)が佳作を受賞した。寺尾さんは夏に行われる全国大会への出品も決まった。

今回の美術展には金沢地区の高校二十二校から二〇〇点におよぶ作品が出品された。昨年度と比較しても作品数が増え、大会のレベルも高くなったといえるだろう。寺尾さんは、自身の作品「再生」について、光が差し込んでいる絵なので、影の形や明るみに気をつけて、最後まで細かく描き込みました。中々作業が進まず、締め切りの直前まで掛かって描いた作品です。時間がないので細部まで描き込むのが大変でした。自分の絵が受賞作品として選ばれたとは思っていませんでした。驚きでしたが、その反面喜びも大きいです。全国レベルの高い作品が集まるので、自分の絵もさらによくなるように今以上に描き込みを加えてしっかりと仕上げたいです」と語ってくれた。

また、六月には県の総文が行われる。部員は今回の大会での学びを活かし、次の大会に向けた新しい作品作りに取り掛かっている。次の総文についても、「より良い作品制作するため、より一層努力していきたいです」と話してく

書道部

僧野さん

最優秀賞

高文連金沢地区美術展が昨年十一月十六日から二十日にかけて、金沢駅もなしろ1階地下イペント広場で行われた。この美術展において本校書道部の僧野希さん(202H)の作品が最優秀賞に選ばれた。

この結果を受けて僧野さんは「まさか、最優秀賞を頂くことが出来るなんて思ってもなかった。とても驚きました。講評を受けた先生に褒めていただいたので、すごく嬉しかったです。昨年度の大会ではあまり多くの枚数を書けなかったのが全然納得できなかった。

たくさん書いたことによって昨年度よりも良い作品が出来たと思うので、継続することは大切なことだと思いました。全国大会ではレベルが高くなるので、出品しても恥ずかしくないような作品を仕上げる事が出来るように努力していきたいです」と話してく

JRC部

中山さん

総合優勝



1位を喜ぶ中山さん

第14回石川県高等学校文化連盟JRC部救急法競技大会が昨年九月十九日から金沢辰巳丘高校で行われた。この大会において、本校JRC部に所属している中山樹君(108H)が総合優勝という輝かしい成績を残した。

今回の総合優勝という結果について中山君に話を聞くと「僕はJRC夏期強化合宿に参加し、そこで救急法に初めて出会いました。心肺蘇生法や三角巾による傷の手当てを学び、習得した合宿でもっとも充実した時間を過ごせました。その成果を大会に活かせると思います。

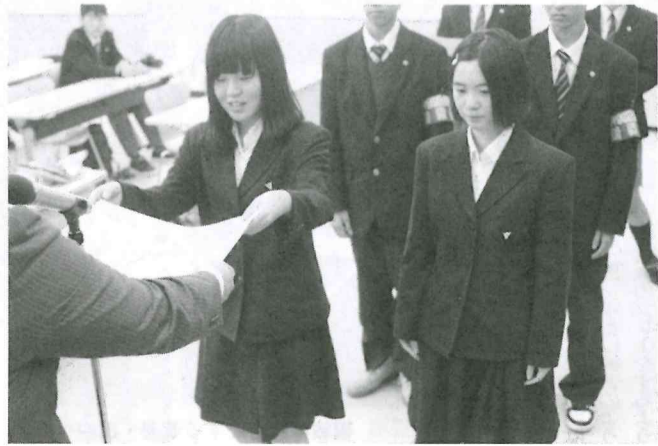
大会が近づいてくると、保健室にある大会練習用の機械を使って練習を始めました。ペアを作り、部員同士で互いにアドバイスしながら練習に励みました。本番では今まで練習してきたことに自信を持ち、冷静に取り組むことで一位となる事ができたのだと思います。この大会で一位の成績を残せたことを自信に変えて、来年度は自分たちが学んできたことを後輩にしっかりと教えていきたいと思っています。そして大会でもう一度部員全員で入賞できるようにこれからも頑張ります」と語ってくれた。

新聞部

総合の部 優秀賞



喜ぶ三上さん(上)と坂井さん・水分さん(下)



第64回石川県高等学校新聞コンクール受賞式が昨年十月二十八日に北國新聞社で行われた。本校新聞部は総合の部で優秀賞、部門の部で企画賞、学芸賞、論説賞を受賞した。

この結果を受けて三年生の三上萌さん(301H)は「自分たちが三年間努力してきた結果が受賞に結びついたと思います。昨年は試練の一年間でしたが、三年生全員で団結し頑張れたことを誇りに思います。学芸部門の受賞は思い入れが強かっただけにとても嬉しかったです。論説部門の受賞については、大好きなバットマンで論説を書き上げただけでも嬉しかったです。賞を取れてすごく光栄に思います。その他の受賞についても、時間をかけて作ったものばかりだったので受賞できて良かったです。一年生も協力したおかげで良い新聞になったと思います。後輩たちにもこれからさらに頑張ってもらいたい」と話してく

ESS部

平山さん1位 庭田さん3位



結果を喜ぶ平山さんと庭田さん

第10回高文連英語部英語スピーチコンテストが昨年九月二十日に石川県文教会館で行われた。今大会において、本校ESS部に所属している平山立夏子さん(110H)が見事一位を獲得した。

英語スピーチコンテスト第一位という結果について平山さんは、「スピーチコンテストに出場することが決まるときは、とても嬉しかったです。そして、今まで自分が勉強してきたことを全て出し切れるように頑張ろうと思いました。自分で作成した原稿を覚えなければいけなかったため、家に帰る途中に頭の中で反復したり、お風呂の中で発声練習や発表をする練習をしたりしました。また、発音をネイティブな英語に少しでも近づけるためにALTの先生方の発音の仕方をお手本にして練習したのは印象に残っています。次の暗唱コンテストでは、他の部員たちとよいライバル関係を築きなから、自分の英語力を向上させて、さらによいものとなるように日頃から練習を欠かさないようにしていきたいと思っています」と話してく

結果は次の通り。
第一位 平山 立夏子
第三位 庭田 陽菜子